

平成27年度 校内研修について

○研修のねらい（研修目標）

「教えて考えさせる授業」の実践を通して、子どもの興味関心をゆさぶるような教材の開発や指導法の工夫・改善を図り、子どもの基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、習得した知識・技能を実際に活用する力の育成を図る。

* 「教えて考えさせる授業」に取り組む意味

これまでの多くの授業は、児童・生徒が主体となり問題解決を行うことを目指して行われてきた。しかし実態は、すぐに理解できる児童・生徒にとっては簡単すぎ、ゆっくり理解していく児童にとっては、どのように問題解決を行ってよいか分からないといった授業になりがちであった。

その結果、理解の早い児童は退屈し、理解の遅い児童は分からないまま時間だけを浪費してしまう現状があった。そこで、どの児童にも基礎的・基本的事項の定着を図り、学習内容を活用する力をつけるために、授業の前半に「基本的な事項は教師から共通に教え」、授業の後半に「理解を深める課題によって問題解決などを行う」という「教えて考えさせる授業」の研究に取り組んでいく。

- ・子どもの変容をしっかりとらえ、子どもたちのためになる研究・研修にする。
- ・職員の共通理解のもとに進める。
- ・意見交換を活発にし、和やかでなんでもいえる雰囲気の研究・研修にする。
- ・研究テーマに限らず、多くのことを学びあえる研究・研修にする。

＜研修主題＞

基礎的・基本的な知識・技能を身につけ進んで活用できる子の育成
～「教えて考えさせる授業」の展開を通して～

① 「教えて考えさせる授業」の指導過程

ア：教える段階

○教える1【教師からの説明】

- ・先行学習や前時の振り返りをもとにして、教材・教具・操作活動などを工夫してわかりやすく教える。（内容を絞り、時間を短くする。）

○教える2【理解の確認】

- ・児童自身に説明させたり、類似問題を実施したりして、理解ができているか確認する。

イ：考えさせる段階

○考えさせる【理解の深化】

- ・問題解決部分。児童が誤答しそうな問題・発展・活用問題に取り組ませる。（教師や友達の説明で身に付けた基礎的・基本的な理解事項を活用して、新たな問題に取り組む。）
誤答しそうな問題や発展的な課題、または、試行錯誤による技能を習得させる課題を設定し考えさせることで、理解した事項をさらに深めさせる。

ウ：上記ア、イを視点とした校内公開研究授業を教員一人一人が学期1回（年3回）実施する。

また、その後、授業研究会を実施し、授業改善を図っていくことで授業の質を高めていく。

②授業との関連を図った「パワーアップタイム」の工夫

【朝のすくすくタイム】 8：20～35（月，水，木，金，週4日）の工夫

ア：国語の授業との関連を考えた読書タイムを実施する。

イ：国語の授業との関連を考えた，学校支援隊による読み聞かせを実施する。

低学年（1年～4年）→ 毎週木曜日，高学年（5年～6年）→ 毎週月曜日

ウ：国語の学年配当の漢字の読み書きの定着の場（「漢字チャレンジ」）とする。

年に12回実施する。

エ：学年で学習する四則の計算の定着の場（「計算チャレンジ」）とする。

年に12回実施する。

【昼のぐんぐんタイム】 13：30～45（週5日）の工夫

ア：授業内容の定着を図る復習・習熟の時間として設定する。

国語・算数の学習と関連づけた計画により，伊勢崎式学力向上学習プリントを活用して実施する。

【ぐんぐんの時間】 金曜日の6校時14：35～15：20の工夫

ア：4年生以上の児童は，金曜日（専門委員会，クラブのない時）の6校時に，特設の時間「ぐんぐんの時間」を設け，発展学習・補充学習に充てる。（年に数回しか取れないが）

境島小学校 パワーアップタイム（15分×9コマ＝135分の帯学習）について

時刻		月	火	水	木	金
8:20～8:35	朝のすくすく タイム	読書タイム (5～6年) 読み聞かせ	集 会	読書タイム (年24回) 漢字・計算チャレンジ	読書タイム (1～4年) 読み聞かせ	読書タイム (年24回) 漢字・計算チャレンジ
8:35～8:45	朝の会					
8:45～9:30	1時間目					
12:20～13:30	給食・清掃・昼休み					
13:30～13:45	昼のぐんぐん タイム	国語・算数	国語・算数	国語・算数	国語・算数	国語・算数
13:45～14:30	5時間目					
14:35～15:20	6時間目					ぐんぐんの時間

③学習習慣・生活習慣づくりの工夫

ア：「家庭学習・生活カード」の活用による学習習慣・生活習慣の育成

(ア)「家庭学習・生活カード」の内容の改善と，全校での活用による「低学年30分，中学年60分，高学年90分」を目安とした家庭学習と，望ましい生活習慣の指導の徹底に努める。

(イ)「テレビ・ゲームの視聴は2時間以内」・「睡眠時間は9～10時間（1～3年），8～9時間（4～6年）」・「朝ごはんは毎日摂取」による学ぶ環境づくり，生活習慣づくりに努める。

(ウ) 授業と連動した宿題を工夫したり，自主的な家庭学習を促したりして，質の充実を図る。